

2030 年に向けたサステナビリティ・ロードマップ

〔環境・労働安全衛生〕

当社は 2030 年に向けて環境負荷低減と働きやすい環境づくりを重点テーマとし、具体的な削減目標と年次計画を策定しています。ここでは、その進捗と今後の取り組みを紹介します。

I. 「環境への取り組み」

当社は 2030 年に向け、2018 年度比で温室効果ガス(CO₂換算)排出量を 20%削減し、産業廃棄物リサイクル率 100%の達成を目指します。本ロードマップでは、全社 KPI と GHG (Scope1~3)の二軸で到達点と年次計画を可視化し、進捗は年 1 回のレビューで更新・開示します。

1. CO₂排出量の年次計画と実績 (2018=1,843 t-CO₂)

- ・2030 年度目標:1,474 tCO₂(▲20%)
- ・2024 年度実績:1,748 tCO₂(達成率 90.0%)

主題	V. 環境	課題	気候変動の緩和及び気候変動への適応															
取り組み	私たちは、気候変動に影響する温室効果ガスの排出削減に取り組みます。																	
詳細	2030年までに温室効果ガス排出量をCO ₂ 換算排出量で基準年度より 20%削減 する。																	
基準年度	2018 年度		排出量			1,843			2030年度 目標排出量			1,474			削減量		369	
年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030						
計画(削減量)	60	50	50	40	40	30	30	20	20	10	10	9						
目標排出量	1,783	1,733	1,683	1,643	1,603	1,573	1,543	1,523	1,503	1,493	1,483	1,474						
目標見直し	基準年度から2024年度までの削減量 (実績値)						95	46	46	46	46	45	45					
目標排出量(見直し後)								1,702	1,656	1,610	1,564	1,519	1,474					
排出量(結果)	1,684	1,643	1,772	1,863	1,811	1,748												
達成率	105.9%	105.5%	95.0%	88.2%	88.5%	90.0%												

[単位: t-CO₂]

2. 産業廃棄物リサイクル率の推移

- ・2030 年度目標:100%
- ・2024 年度実績:99.5%(計画 99.1%)

主題	V. 環境	課題	汚染の予防															
取り組み	私たちは、環境マネジメントシステムを継続的に運用し、環境汚染を防止します。																	
詳細	2030年までに産業廃棄物リサイクル率 100% を目指す。																	
年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030						
計画	98.4	98.5	98.7	98.8	99.0	99.1	99.3	99.4	99.6	99.7	99.9	100.0						
結果	98.4	98.6	98.5	99.6	99.6	99.5												

[単位: %]

3. 温室効果ガス (Scope1-3): 年次計画

・Scope1/2: 年率 2.5%削減カーブを設定

・Scope3: 年率 0.8~1.0%削減、特にサプライチェーン協働削減を重点領域として推進

年度	Scope 1 (kg-CO ₂)	Scope 2 (kg-CO ₂)	Scope 3 (kg-CO ₂)
2024	2,680,874	4,194,656	30,908,358
2025	2,613,852	4,089,789	30,599,274
2026	2,548,506	3,987,544	30,323,881
2027	2,484,793	3,887,856	30,050,966
2028	2,422,673	3,790,659	29,810,558
2029	2,362,106	3,695,893	29,572,074
2030	2,303,054	3,603,496	29,335,497

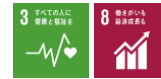
〔脚注〕

1. 算定基準: GHG プロトコルに準拠。企業インベントリは年 1 回更新。
2. 組織境界: 当社グループ(国内・海外拠点)を対象。
3. Scope3 の基準年: 2018 年の基準値未整備のため、2024 年を基準年として 2030 年▲15%相当の削減目標を設定(0.8~1.0%/年)。
4. 削減カーブ: Scope1/2=-2.5%/年、Scope3=-0.8~-1.0%/年。

II. 「労働慣行」: 安全と健康に配慮した職場づくり

2024 年度は、社員の安全と心身の健康に配慮した職場環境づくりを推進しました。有給休暇取得率は 72.4%となり、高い水準を維持しています。

主題	IV. 労働慣行		課題		労働における安全衛生							
取り組み	私たちは、社員の安全、心身の健康に配慮した職場環境を整えます。											
詳細	2030年までに有給休暇取得率を70%以上にする。											
年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
計画	61.6	62.4	63.1	63.9	64.6	65.4	66.2	66.9	67.7	68.4	69.2	70.0
結果	61.2	60.6	67.7	68.9	77.0	72.4						



[単位: %]

▶2024 年度総括と 2030 に向けた重点方針

2024 年度は、環境・労働慣行の両面で 2030 年目標に向けた基盤整備が進みました。GHG 削減、リサイクル率向上、働きやすい職場づくりのいずれも高い進捗を示しており、来年度以降は Scope3 削減の加速が重点テーマとなります。